

クールで通っているJKの織辺型雑
彼女は家ではオナニーが好きな
とてもエッチな女の子だった！

残念クールな委員長の
ふたなりオナニー活動



サークル：むこころの雲

「ひなちゃん、初めまして」

私は機辺型雑

学校ではクールな委員長で

通っているいわゆる優等生

ひなちゃんと呼ばれ慕われているわ

今日は私はある目的のために

放課後素早く家に帰り

ある趣味の準備をしていたの

その趣味は…

ギン



「オナニーなのよ」

人にはあまり言えないから
基本は秘密にしているけど
重度のオナニー好きなの

で、新境地を探さつて友人に
聞いたらどうしてあんなの情報か…

「やっぱり難かっただけや」

同時に緊張するのよ…」

ゴキ

ゴキ



「ふたなりになれる薬ねえ…」

友人はふたなりになれる薬を作っている学生ながらの天才
我が友人ながらおかしい人

この日のためにわざわざ男物のシャツも着たし
道具は使わかわからないけど準備は万端

「でもオナホ買ってるあたり期待してる証拠よね」

さておき早速お薬飲んでみまじょう

「本気でやんばか生えるのさっさと…」





「んんんんん」

そもそも飲み薬なんて気楽なもので
人の身体に変化を及ぼすなんて
どんな危ないモノを配合して...

「ぶっ...あっ...っの感じ...」

「エッチな気分...」

体のさながらのびしろが火照ってまた
もしかしてあなたの媚薬なんじゃ...

「...っ」

「股間が熱く...」

「っ!?!」

はあ

はあ

ツツ

ツツ

「ふん...これは期待できそう...」
普通の女性では絶対経験できない
ちんぽオナニー
これが体験できるなんて
どこでも幸運なひさねー
「射精ってどんな感覚かしら...」
今から楽しみね...」
わあ...
私のオナニー活動の始まりよ



「まさか手始めに手」キキカラ」

かじまあちゃんぽってごんごんに
熱くて意外と硬いものなのね

「敏感な部位なのに不思議ね」



とておきさっさきからずんぽが
疼いて仕方ないわ

「ごんごん感覚が
待っていらぬのかしら…」

「まさか…」

「ん、はあはあ、んくぅ！」

これは…想像以上の感覚っ…！

「擦り続けて痒くなるならこのま

思っくいませぬ…

男性がすっど動かす気持ちうが
分かるわ…」

んくぅ♡♡

んくぅ♡♡

コッ

コッ

はっつてごんは息が荒くなっつて
ぞうで気持ちよくなるわなっど…

「んくぅ♡♡」
「んくぅ♡♡」



「おなごのまへに...」
「へん」

まんどみたいに指でつまんだり
擦ったりじやない
単純な上下運動だから楽だけど...



「どの分...んはあ、はあ...
腕が疲れ、んひっ...
香くなるわね...あっ...」

もっろんまんこのオナニーも
香くなるけど...
うちほほそれより香くなるわね

「はぁ...あっ...んっ...」

なんだかちんぽはオナニー...
自分の乳首ですら興奮の
材料になっ...じもてる奴だなあ...

「んっ...んっ...」
自分の乳首なの...」

なんだかますます興奮して
手の動きが速くなる...

「はぁ...はぁ...んっ...」
気持ちいいんっ...」



「お、おっ...」
「おっ...」

「これは、中子...」
「まだ興奮が治まらな...」

「俗に言う賢者タイムが
あるの聞いたら...」

「うん、ほほ...」



「このおっぱい...」
「...おっぱい...」

「おっぱい...」
「おっぱい...」

「はあ、はあ…んへっー」

やばい、頭の中が
ちんぽのこじこじな考えだらけなぞ…

「このままで性欲に耽溺になっちゃうぞ…
ちんぽの魔力、あっー！
すくすくぎら…」

腰を上げてやるぞ
また違う感覚…

「犯されてるやうな、んっ！
感覚に陥っちゃうぞ…」

はあ、はあ♡♡

ニア

ニア

はあ♡♡



「あっ！ ひっ、ん、んっ、うっ！」

自分で自分の思いっきり
擦る動きがもうたまらぬわい！

ちんぽの感触が…
気持ちよくなるわいっ、うっ、んっ

「性欲に、エッチなことで
縛り付けられてる
みたいわい！」

気持ちよすぎて
たまらぬわい…！

「あ、あ、あ♡♡♡」

「ん、ん」

「ん、ん」

「あ、あ♡♡♡」





「あひっ...んふうう...!」

「ダメ...もう頭が
ぐわぐわしてきて...」

「...せ...せ...せ...」

ヒッ

「ちんぽちんぽ...
もっと擦らなまき...」

「だくせん精液出して
気持ちよくなりたいの
おんはぁんっ!」

「ちんぽせちい...」

ハハ

ハハ

ハハ

ヒッ



「あー!!
あひっくううー!!」

ひっ??
うそっくううううーッ
イッてなの!!
精液が通っっ!!

「精液の
おまぶっくうううーッ」

そんなの聞いたこと無い!
でも実際に感じてる!

「せーえき
もれちゃっっっっ!!」

ハハ

ニハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ



「んっっっっっっっ」

精液が…!

ちんぽがたいっほい
飛び出してるうううう!

んっっっっ
んっっっ
んっっっ

やっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっっっ
んっっ

んっ

んっ

「んぶっぶっぶー！
あひっつっつー！」

ちんぽがこんな気持ちいいの
だったなんて…

「あひっつっつー！
んああ…」

精液いっぱい出した後の
疲労感がまだ、心地いいわ…

「あま…んっ」

ああ、とても充実した気持ち…
ふたなりオナニーせいこあ…



次の日

私はさらなる快感を求めに
ある道具を使つてごじごじしたわ

「オナホとやらを
使つてみましょっ」

女性器、つまりまんこを模した
擬似的セックスを用いるアイテム

「ティルト入れたらどうあるかな
される側はなんともな
分かるけど…」

入れるとなると
どんな感覚かしら？

うーん



「たておき勃起を
維持しなぐさっ」

十分興奮はしているものの
やっぱり多少は快感を
得てからのほうが
比較しやすいものよね

「ああ…気持ちいい…」

「このまま射精したがり気持ち
持たれるわ…」

でも…これは我慢しなぐさっ
オナホが待っているもの

ん♡

ん♡



「さてローションも入れたし
オナホの準備は万端だ」

「このふにふにしたシリコン素材
こんな人工的なもので
まんこを再現してるたなんて

「どうも滑稽よね」

「オナニーを否定はしないけど
道具に関してはどうとでも言っわ

「それでは
ちんぽをオナホに…」

挿入っ！

ドキ

ドキ





「あわやうー?」

え、あわやうー
今の私の顔って

勝手に出がっつたのって

これってどうもかまうな感じがして
どうもかまうな感じがして……

あー♡

♡ ー ♡

びん

あ♡

あ♡♡

「う、うどお…
オナホってこんなもの…」

さっきは滑稽なんて言って
ごめんなさい！
オナホで感じるこの快感…

「気持ちよすぎ、
じゅわいの…」

オナニーするアイテムを
研究し続けた人たちの
努力の結晶…！
何十年とかけてたどり着いた
性欲の勲章！

「気持ちよすぎないわねが
んっ、なかつたわね…」





「あっ！あっ！くうううー！
ま、待ってえー！

もっとオナホをいじらなければならぬわー！」

あまりの気持ちよさゆえに...
もうちんぽが、わたしの性欲が
耐えられない...！

「あっ、まっ、っのまきごも...
んひっ！せりっ！
ちんぽでちゅっ...！」

ピク

あ

っ

キョ！♡

ちゅ♡

せり

あ♡

っ

ちゅ♡



「あひっっんあすあすあす!」

少し上下したただけなのに……
二擦り半の早漏すぎるわう……

びん

せし

あひっ
♡♡

あひっ
♡♡

あひっ
♡♡

あひっ
♡♡

あひっ

あひっ
♡♡

「んひんっっぶっす...!」

オナホ気持ちよすぎて
あっといっ間にイマっちゃった...

「...待ちなさいよ
こんな手持ちのオナホで
十分気持ちいいのに...!」

奥にある大型オナホ...
こっちはどれだけの快感が
待っているというの...!?

ビク

あ...

せり

んんん...♡

ど

お♡





「はぁ、はぁあ…」

こんな大きなオナホ…
まるで本物に入れるみたいなの気分ね

「どんな快感かしらっ？
どんな世界が見えるのかしらっ？」

興奮して早く入れたくて…
性欲に満れた男性の気持ちか

「もう我慢出来ないいいー」

性欲は思考すら凌駕するもの



「んほおっ、んおおおー!?!」

な、何この圧迫感と撫で回す臍壁!
これが快感を最大限に追求した
大型オナホの感覚ううう!?

「んああおおっ、んくううううー!」

だ、ダメ…

快感で目の前真っ白あ…!

「気持ちよすぎにいいん…!」



「あっ、ひっ、んふううー」

あれ？
オナホ動かしてないのに
気持ちいい……？

「ちが、これ……！
私が動いてっ、
んはああー！」

腰が勝手に動いて
気持ちよくなってる！
これが大型オナホの魅力なのね……！



「んひっ！なんだか…
女の子を犯してる気分になっ
てきたかも…！」

これも大型オナホの
醍醐味なのね！

「自分で、んっ！
動くから…
本当にセックス
してるみたいな…
あっ！快感んっうううー！」

オナホとセックスしてる！
私の童貞はオナホに捧げたのねー！



「あっ！
んはああー！」

どう考えるとききます
興奮してきましたわ！

「ちんぽ気持ちいい！？
オナホちゃん気持ちいい！？」

自分自身の快楽に身を委ねながら
オナホとセックスするオナニー！

「意味分かんないけど
きもちいいいいいいいい！！」

最高の気分！快感が高まってきて…！！

「このまま、あなたに…
中出し、しちゃ、ああああー！！」

あぁ♡♡

まじ♡♡

あぁ♡♡

まじ♡♡

まじ♡♡

どやほ♡

まじ♡♡

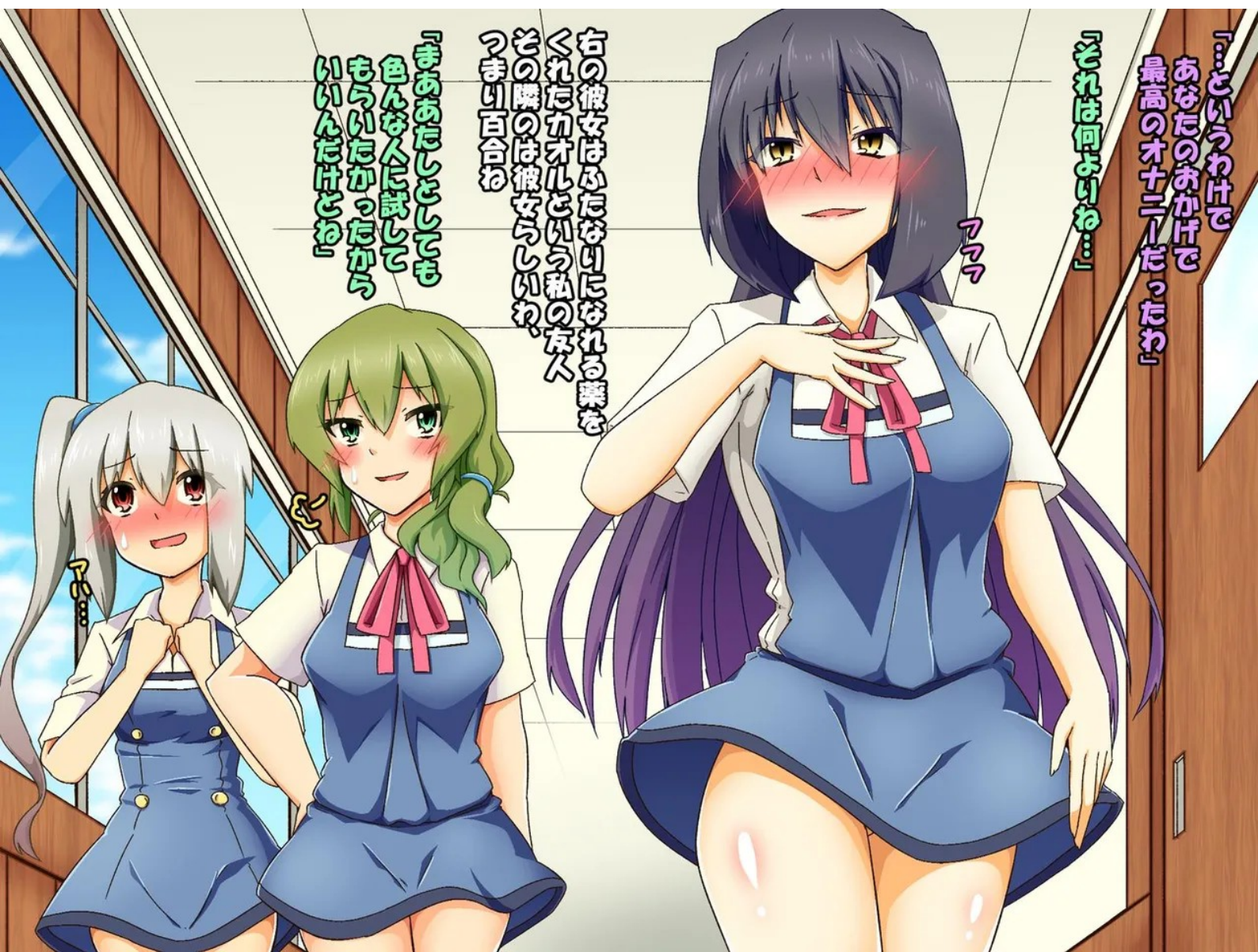


「んひあ、ひんぐうん...」

オナホちゃんさいごま...
オナニ―道具の一流だわ...

「中出した征服感も感じられて...
もまたまらないわあ...」

このまま余韻に浸りつつ
抜く時に思わず射精してしまうとは
今この時点では予想がつかなかったわ



「……ううわはで
あなたのおかげで
最高のオナニーだったわ」
「それは何よいな……」

フフフ

右の彼女はふたなりになれる薬を
くれたカオルという私の友人
その隣のは彼女らしいわ、
つまり百合ね

「まああたしとしても
色んな人に試して
もういたかったから
いいんだけどね」



「まの当然よ
私の欲求を満たすという
前提ではあるものの
友人の実験の協力を惜しまないのが
この私、ひなちゃんですもの」

フフフ

「横辺…
あなた外面はクールで通っているけど
中身は残念よねホント…」

それは自分でも
多少思っているわ！

「ひなちゃん
過激だなあ…」

「過激だなんぞそんな...
あなた達のように毎日
保健室を借り切って
セックス三昧してやるの」
比べたら...」

キキ
フッフ

「ぎゃー!!
廊下で言うなあー!!」

「ひひひひなちゃん
それは言わない
約束うー!!」

ちなみに私は決して
弱みを握ってふたなり薬を
もらったわけではないわ
断じて!





「さておき今日も帰った♪
オナニーに時間を費やそっかして...
また新しいオナニーネタを
見つけたから楽しみなの...」

「まあ...ほじほじして
一回一輪をすっつんさか
それぞいかにかん」

「やなひ
気をつけてお...」

何か言ってるもんなら
私はオナニーの
頭が一杯で聞けて
なかつたのよ

「あ、あ、あ」

「あ、あ、あ」

「これで準備おついで」

今日は男性向け催眠オナニーを
してみるつもりでしたわ
そしてなるべく興奮するような
衣装も準備したわ

今まで能動的なオナニーしか
知らなかったのだけど
ふたなりになれたからこそ
知れたオナニーの種類ね

「どっかへ始めまじやう」
「いっしょに、夢の世界へ…」

へえ、意外と可愛い
声で流れるのね
どっか持ちよよく
してくれるか楽しみね

ドマ

ドマ



そもそもそんな簡単に
催眠というものがかるのかいっ？

「深呼吸をしましょっ
わたしたち合わせてっ…」

「すっ—はぁ—すっ—はぁ—」

よく聞くのはコインを使ったり
ロウソクの炎をつかったり

「足の先からだんだん力が
抜けていく…じんわりと…」

そっ…っ…はぁのほ…
おっ聞くんじや…

…っ



「おなかの力も抜けていく...
じんわりと...抜けていく...」

「いっ、だんだん力が抜けていく...
気持ちがいいものお...」

「んんう...」

「頭がぼーっ...」

「真っ白な...」

「何も考えられなくなる...」

「...眠くなる...」

「ん...ぼーっ...」

「ずう...ずう...」

ずん...

ずん...





……んんう

「これからエッチなことをします
そのためにあなたを来たのよお」

……あれ、寝てた……？

いえ、意識がすぐく薄かっただけ……

膣気だけど、記憶は……ある

そしてなんだか体中

ふわふわじんわり気持ちいい……

「いままで貯まった

エネルギーが、妄想が

身体の敏感な部分に

集まっていく」

……！

「頭から首、胸を通して、

お腹へ……」

熱いものが……

ちんぽに……！！

ハァ

ハァ

ハァ

「あそこを根本に野暮って
渦巻いている、たまらない…
気持ちいい…」

「あ、はあ…はあん…」

なに、これ…
何も触っていないのに
身体が気持ちいい…!

「体の力は入らない
でも快感が、エッチな気持ち
がアソコで強くなっていく」

「あ、くあっ！」

んはあ…!

きもちう…うら…うら…!



「あなただけだ...」
「もっと気持ちよくなるならだろよあつ？」
「わたしならじじいめいあつあつ」

「うんうん...」

「はむ...んちゅ...あつあつ...」
「んんう...」

う、うそか...
音声だけで...
ホントにフエラわさじい
みだいな...?

「じゅあ、ちゅあ...」

「あつ、ああああ！」

だめ！
きもちよすぎだろー！



「あっ！くああ……！
あああんんっ！」

「それじゃあさびやうに、お
カウントが0にならな
イッチャウヨウ？
身体が勝手にイッチャウヨウの
……いくよっ！」

え？そんなこと……

「10……9……8……」

「あ……！？ああ、ああああ……」

ま、待って！まだ心の準備が……

「5……4……」

「あっ！はあああ……！」

や……！

射精感が、ホンント……

「3……2……1……」

あ、く、来る……！



「…満足できたかな？
それじゃあまた
お持ちするかならなかつた？」

「あ、はあ…あ、あ、んんっ…」

「ご、ごんな、快感が
あったなんて…」

「でもまだ、身体が
痺れている感じが…」

催眠音は終わっただけ…

まだ…したい…！





「はあ...はあああ」

あんなに気持ちよかったのに物足りなくなってる...

「これもふたなりになったせいなのかしら...」

でもただちんぽ擦るだけじゃ芸がないわ...

「...さあ...」

「...フナルにいい感じ持たせようかな...」



「ん、ふぁあめー!」

あっ!

気持ちいい!...

直接的で、さっほら催眠やほ建つ
気持ちよむがある...

「いも、さっちも好きに...」

「アナルは前からじつたはず...」

「ちんぽがあるぞ、んくうー」

「ちんぽの方にも響く...」
うっん!

「前立腺でも、さっさささ...」
いつもするアナルよりいいかぜま...



もっと、大きな刺激が欲しい…!

「あ、はぁあんっ！
アナルもちんぽも、んあっ！
気持ちいい…！」

「あ、はぁあんっ！
アナルもちんぽも、んあっ！
気持ちいい…！」

今日は一回も
ちんぽいじってないのに！
ずっと気持ちよくなってるっ！

「あっ、んはぁあぁ！
触ってないのにい、
またぁ！」

んっ♡♡♡♡♡

んっ♡♡♡♡♡

んっ♡♡♡♡♡

んっ♡♡♡♡♡

んっ♡♡♡♡♡

んっ♡♡♡♡♡



「ん、ああはあああ！」
指を、もう一本っ！
アナルがますます
キュって締まって…！
「んあああ！
キツ気持ういいのぉー」
ぐりぐりして入り口を
刺激するの好きさー！
「うんほもキュンキュン、んうー
疼いてるううううー！」



「もっと、もっとアナルをあんー」

「整く、イヤッてえ…
でもまだ尻になんで…」

「ああああー！」

「あ、イツ…！」

「すほすほして刺持ちおんをって
高まって擦りて中で響いて…！」

「あ、あっーだめっ！
アナルがじわじわイキさっ…！」

ザッ♡

ザッ♡

キョウ

ウッ♡

ズッ♡

ズッ♡

ズッ♡

ズッ♡

ズッ



これ、出っ、ああー！

「さ、じわじわ、登って……」
「んっ、あああー！」

また射精感が、上がって……！

「ちんぽがあっ、ちんぽあー」
「触ってないのに……！」

あ、あああー？
や、またあー？

「アナルがキュンキュンってえ！」
「締まりたかっって、んくああー？」

思いっきり広げっ……
無理やり広げられてええ！

「んっはあああー！」





「んおっおおおお...っー!」
「はあああ...っー!」
「...うんうん...」
「...うん...」
「うん...」
「うん...」



「お、おび...
ひびく...」

催眠で射精させろわい...
アナルに挿れろわい...
「ちんぽいじりだけじゃならぬ...
せいのまに挿れ持しろのさ...」

ふたなりになって
オナニーの幅が広がっ...
「ふたなりっ...
ホントにめろめろさ...」

「今日も今日とて
ふたなりオナニー」

この「週間色んなふたなりオナニー
してきつたれが最後の薬

「まだなまじいせうさなへんじゅ
なうなうなう」

ドキ

ウン

ともかく手持ちの最後の「錠
思い切って「氣」に使えほ
もっと氣持ちいいいんぽが
できるんじゃないかしら？

クク

「...さあ、クククククク...」



「と……？」

あ……
「いやなとわんつんやばな
井ぞつむつむおはつんなるのよ……」

「や……や……」

身体が少し痒いのはいるほど
全く生える気配がないわ

「ん」

「ん」

「……やっぱり二錠二錠と
飲むのはまずかったか……」

うーん、しょうがないわ
今日は諦めてまた明日……

「……あれ？」





「あはひびき...」

「え、あ、あ、あ...」

「ア、ア、ア...」

「ア、ア、ア...」

「ア、ア、ア...」

「ア、ア、ア...」

「ア、ア、ア...」

「ア、ア、ア...」

「ア、ア、ア...」

「ア、ア、ア...」

「ア、ア、ア...」

「ア、ア、ア...」

「ア、ア、ア...」

「ア、ア、ア...」



「んんんああ！」

あ、ためえ...

頭がもろろろろろろろろろろろ...

じゅせせせ...

乳首も「緒」に「う」めめめ...
お持ちりららららららららららら...

「「新」の「ま」の...

欲し...の...！」

うんほろろろろろろろろろろろ...

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん



ハッ

ビク

はぁ♡♡

はぁ♡♡

ハッ

ビク

ビク

「おなかで...うんほま
しゅせーせーせー...」

ぜんぜん射精してない...
全然射精してない...
快感と比べて射精感が
見合ってる仕方なの...

「んほまからえまわした...
らっほっせーせーせー...」

ぜんぜん射精のまま射精してる...
ぜんぜん射精のまま射精してる...
...せーせーせーせー...
...せーせーせーせー...
...せーせーせーせー...
...せーせーせーせー...

「射精、うたての...」

せーせーせーせー...
せーせーせーせー...

♡ ♡ ♡

ビク



うー

んんん

んんんんん

んんん

んんんんん

んん

んんん

んんんんん

「んんんんん...」

「んんんんん...」

「んんんんん...」

「んんんんん...」

「まだ...全然ちんぽが
満足してないのさ...」

んんんんん...

んんんんん...

射精した...」



「さっき射精したばかりなのに…
もっともっと大きな射精感が
上がってきてりっっっっっっっっ！」

「んっっっっっっっっっっっっっっっっ！」

「ちんぽとまんこで一気に快感があー！
どっちもインしてる感覚がっっっっ！」

「あ、あああー！
はげしっっ！
ああああー！」

♡ス♡

♡ス♡

ハッ

ハッ

んっ♡

んっ♡

♡ス♡



ハッ

あー♡

ハッ

コス♡

「あーッ♡あーッ♡あーッ♡」

「はっ、ああああー！

うめえ……！」

「こんなのが……！」

「耐えられない……！」

「ちんぽまんこで

射精感が上がりますまで

はっせれぞう！」

「あひっ♡あっ♡くあああー！

うめうめうめえ！

「もあ……！」

「きゅきゅきゅきゅきゅきゅー

精液きゅきゅきゅきゅー

「あひっ♡んっ、あああー！

「イッチャ、イッチャあああ、

「あああ！」

コス♡

コス♡

ハッ♡



「あ、ああああ!!
ひうああああ!!」
イマだあああんんっう!
精液の量が...!
今までで一番の量...!

♡♡♡

♡
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡

♡♡

♡♡

♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡



「んん♡んん♡」

や、こんな射精...
気持ちよすぎて意識飛ぶか
思ったの初めてえ...

「んん♡んん♡...
え、あ...まだ...」

んん♡...
こんな射精なんだ...

「まだ...
出っせぬなら...」

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡



「はあ...んはああ...」

「だっだっだっ...おちちっ...」

「...うん...」

ゴウ♡

ゴウ♡

ゴウ♡

「...ん...」

「...ん...」

「...ん...」



「...おもしろいおっぱいを
食べてみたいわ...」
「だって私はオナニー大好きなの
だから...」

「...おもしろいおっぱいを
食べてみたいわ...」
「だって私はオナニー大好きなの
だから...」

「...おもしろいおっぱいを
食べてみたいわ...」
「だって私はオナニー大好きなの
だから...」



「んひっあああー!?」
あ、あひっー?
あ、あひっー?
あ、あひっー?
あ、あひっー?

んひっ

んひっ

んひっ

「んひっー!
あ、あひっー?
あ、あひっー?

あ、あひっー?
あ、あひっー?
あ、あひっー?



「ま、間違えたけど...
でも手マンも
「替」で出来るさ...」

オナニー...
イカ...

「じゃなまからっぽ...
んひっ...
気持ちもく...
もの...」

「...
精液...
...」

「あっ！あんうううう！
んふっう！くああん！」

こんな強い快感生まれて初めてえ！
こんな気持ちいいオナニ初めてえ！

「でもでもでも
まだ足りないのオオオ！」

こんなに気持ちいいに
まだ足りないのあ……！
満たされないのあ……！

「……はっわ.あ.っ.でめ」





いいいん！！！！
シャワー！
いいいなひい

「シャワー！」

シャワー！
シャワー！

「シャワー！」

シャワー！

シャワー！

シャワー！

シャワー！

シャワー！

シャワー！

「んんん...田んんん」

自分の精液をかぶりませぬ...

「んんんんんんんんん」

制服にもたぐさんかかっ...
とびりっかっし明日学校に行なうも...

あはは...

「...んんんんんんんんん」

んんんんんんんんんんんんんんんんんん

「...んんん」



「ちんぽが消えていたら...」

「いつまでもオナニーが終るまで
ちんぽが消えていたら...」

「今日の夜は持たないから」

「長い期間薬を飲んだから？
ぶわわわ「氣」錠飲んだから...」
「おは...おは...」



「...アッ...アッ...」
「...アッ...アッ...」

何事もボクデェスに...
私は今次にどうオナニーするか
考えを移したわ

「あんなに...あんなに...
あんなに...あんなに...」

難しいことは私の友人に頼めば
なんとかしてくれるもの

「さう、今日の時の
オナニーを一番に
オナニーにイキなぐさ...」

それが私、機嫌理難の...
オナニー活動なのよ...」











































































































































































